



概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
事業名	DV・虐待・性暴力等による被害女性支援のための関係者研修事業
<p>1. DV・虐待・性暴力等による被害女性への支援に携わる関係者（現場職員・婦人相談員・母子相談員等）のための学習会（2回開催）</p> <p>第1回は5月30日、89名参加。「保護命令・ストーカー対策について」弁護士打越さく良氏によりDV・ストーカー被害者支援に必要な法的知識を具体例を挙げ説明いただいた。第2回は7月9日、63名参加。「性暴力被害者支援とは」まつしま医院小竹久美子氏、しあわせなみだ中野宏美氏、お二人の講師により「医療機関としての支援の役割」、「性暴力当事者に寄り添うのはどうしてこんなにしんどいのか」などをお話いただいた。</p> <p>2. DV・虐待・性暴力等による被害の実態と被害者ケアの現状を把握し、現場でより一層被害者に寄り添った支援に反映させるとともに、女性の人権向上に向けての啓蒙活動となるシンポジウムを開催。（2回開催）</p> <p>第1回は6月29日、228名参加。「愛という名の暴力」原宿カウンセリングセンター信田さよ子氏、家族において暴力と愛情の区別はつきにくい、など家族形態を視点にお話しいただいた。第2回は9月28日60名参加（大阪にて開催）。「女性への暴力が与える影響、安全な支援とは」さよウィメンズ・メンタルクリニック竹下小夜子氏、恐怖・不安が医学的に脳に与える影響、被害者への具体的なアドバイスなどをお話しいただいた。</p> <p>2回の学習会とシンポジウムへの参加者の反応は大変好評で、延 440名の参加人数であった。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。